

## ボランティアの先生を紹介します

VOL  
17

渡辺裕太先生（男性）

渡辺先生は、東工大付属高校から横浜市立大学理学部で化学を中心に勉強をしてきた先生です。現在は通信制の高校の理科の先生です。

先生の教師としてのモットーは、①子どもの個性を生かす教育②教師と生徒がりのままで接する教育③子どもに対してゆっくりと気長に関わる教育だそうです。

ひまわりでの先生は、正にそれを実践するように丁寧で穏やかな指導ぶりです。子どもの個性を認めて、子どもと共に高めていく指導はひまわり理念にピッタリです。勤務曜日は土曜日、趣味は将棋観戦と読書。休日は散歩とジム通い。27歳（独身）保土ヶ谷区在住

### ひまわりのに通学して（子どもが感じたひまわり）

#### A（小三）

ぼくは、ひまわりが大好きです。

ひまわりに通うようになり、集中力がついたように思います。それと友だちとのコミュニケーションの力が上がったように思います。このちょうしでこれからもがんばるつもりです。

#### B（中三）

僕が、ひまわりに通っている理由は、ひまわりが学校に比べて自分の好きな世界史の勉強を自由にできるからです。他には、みんなと一緒にゲームなどをして楽しい時間を過ごせるからです。僕が学校に行けなくなった理由の一つは学校での騒音です。ひまわりにも元気な子どもが居て、うるさいと思うことがあります。でもそんな時には、場所を移動したりイヤホンをつけたりして工夫をするようにしています。僕がひまわりでの騒音にたえられるのは、やはりひまわりが大好きだからです。いつまでもひまわりを続けて下さい。

#### C（中三）

僕は、中学になりひまわりに通うようになりました。最近は中学生がたくさん入って来たので毎日がとても楽しいです。特にフィールド活動の時のドッチボールは白熱して楽しいです。最近は勉強もしたくなったのでひまわりで勉強のカリキュラムを作って欲しいです。ルールを守らない小学生に対しては中学生として指導もしていきたいと思います。

### ボランティア募集

内容：子どもの見守り、学校事務など  
条件：週一回以上勤務可能な方  
以上のような方を特に求めています。

\*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、  
渡辺（090-9201-3992）までお気軽にお問い合わせください。

最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/>  
と Facebook にてアップデートしています。

ボランティアスクール「横浜みどりの学校ひまわり」

# ふれあい



学校だより 2023年5月号 No.59

こんな学校があってもいいかも  
(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、11年前に開設されました。

### 不登校と発達障がい

校長 渡辺 正彦

今から40年も前、私がまだ学級担任だった頃にも不登校の子どもはいました。その頃の私は、教師の熱意で不登校を解決しようと不登校の子どもの家庭を頻りに訪れて自校への再登校を試みておりました。当時の私の心の片隅には、不登校の原因は怠学であり怠学は担任の努力と熱意で解決すべきであると信じていたのです。

そして40年後の現在、私は不登校の子ども達に対して当時と全く異なることをしております。それは、彼等の現状を認めて不登校を容認することです。私の指導法の変化の裏には発達障がいが大きく関係しております。不登校の子どもの大多数が実は発達障がいやそのグレーゾーンであったり、HSC（ハイリーセンシティブチャイルド＝五感に過敏な子ども）であったり、更には起立性調節障がいを有しており、決して怠学ではないのです。

学校教育は、子ども達の行動や思考の最大公約数を想定しておりますが、その最大公約数からはみ出た子ども達が不登校になります。私は「発達障がいは個性である」とする立場に傾斜しており、彼等の特性を認めて個性を評価するようにしております。しかしながら学校や社会で生きていくためには、必要最低限度の協調性や社会性を身に付けなければならないのも事実です。本校では、「校長タイム」と称するSST（ソーシャルスキルトレーニング＝社会性構築訓練）やフィールド活動と称する集団運動を実施して学校教育の枠の中に戻す活動しております。[日常における子どもの行動特性]

事例①下校後に子どもが飲んだジュース缶を見つけて、たまたま自動販売機の前に居た別の子どもに後ろのゴミかごに捨てるように頼むと、真剣な顔で「イヤです」とはっきりと拒否→自分のものではないから（融通が聞かない、白黒思考）

②昼食の時間に食べながらのゲーム（携帯型ゲーム機）を禁止の指導をした後もう一度見に行くとまたゲームをしているので注意すると「これはゲーム機ではありません。携帯です」と弁明→ひとつの注意を受けても同様なことまで気がまわらない。（類推力が弱い）

③皆でトランプゲーム中、突然ロッカーに自分の携帯をしまいに行こうとするので後にしなさいと言われたがなぜだか理解できず不満顔→状況把握が苦手、マイルール中心。

このような特性を有する子ども達にとって学校や社会はきっと生きづらい事でしょう。横浜みどりの学校ひまわりでは、子ども達の特性の是正とその特性の有効活用に向けてユニークな発想と独自の手法で取組みたいと思います。

## こんなことしました！（活動報告）

### ボランティア研修会（一般研修）

研修会はひまわりの重点活動の一つです。一般研修会のほかに各種の研修会が開かれ、子ども支援の知識と技を磨きます。（4月8日）



### プレスクール 朝の個別学習指導

毎朝のプレスクールは、在籍校への再登校を目指す子ども達の学カアップの場です。（4月28日）

### 子どもミニ菜園での収穫作業

子ども達がミニ園主の菜園で大切に育てたラディッシュが立派に育ち、収穫をしました。「今夜はラディッシュサラダだね」収穫する子ども達の声が弾みます。（5月15日）



### ふれあいレストラン

4月のひまわり版子ども食堂のメニューは、ピザ餅、おはぎ、サラダでした。ひまわりふれあいレストランはフードバンク神奈川の食材支援を受けて実施しています。（4月22日）

### カメとにわとりのフェスティバル

普段狭いおりの中にいる「カメと鶏たちに自由を」の発想から生まれたこのフェスティバル持ち寄ったご馳走と自由に動物達も人間も大満足だったようです。（5月10日）



## こんなことしてみます！（活動計画）

### 「ひまわりふれあいレストラン」 子ども食堂 5月20日

5月のひまわりふれあいレストランのメニューは、おにぎり、麺類、サラダ、フルーツポンチ、みそ汁です。子ども達の「おかわり」の声が聞こえてきます。

### ゲーム機購入委員会（計画中）

自分達も参加したバザーの収益金の一部を活用してゲーム機とソフトを購入するための子ども達の委員会です。この活動を通して協調性や妥協を学びます。

### 初夏の清流体験

（三保町一本ばしメダカ広場） 計画中

自然体験活動の一環として緑区三保町までのミニハイクを計画中です。ゲームだけでなく「身近な自然にも目を注ごう」がコンセプトです。

### さわやかバーベキュー大会（計画中）

コロナ禍で、できなかったひまわり農場でのバーベキュー大会を再開とします。併せて「食の教育」、「命の教育」も実施します。

## トピックス

### 活動終了研修会

毎日の活動後の研修会では、子どもの個性理解の他に子どもとの関わり方など実践的な研修が行われます。（4月5日）



### 校長と理事長が さつきが丘小学校入学式に出席

コロナ禍で控えられていた入学式への来賓出席が一部解除されて、理事長と校長が入学式に出席しました。久しぶりの入学式での校長先生のお話が素敵でした。（4月7日）



### 校長と理事長が地元ラジオ局の番組に出演

地元ラジオ局のFMサークルの番組に出演をしてひまわりの日頃の活動をお話しました。番組の内容は、ひまわりのホームページまたはYouTubeでも視聴できます。（4月25日）

